

## 社会実装にあたり、市民との共創は必要不可欠！

COINSでは、研究開発とともに市民との共創を通じたパブリックアクセプタンスの醸成にも力を入れている。

これまでに、川崎市内高校での出前授業やワークショップ、川崎市内科学館での展示やワークショップ、科学技術になじみのない方にも分かりやすく研究を伝える市民公開講座、日本科学未来館と連携した意識調査やトークイベントといった市民との共創を通じて、イノベーションに対する**パブリックアクセプタンス・ヘルスリテラシーの醸成**に取り組んできた。

また、これらの活動は、研究推進機構とともに研究者も一緒に企画運営することで、研究に対する説明責任、市民の声を取り入れるといった**研究者の意識変革**へ繋がっている。

実現不可能だと思っていたものも、  
できるのではと思えた！



2021/12 市内高校

ナノマシンを  
つくりたい！

参加者からの感想



2020  
日本科学未来館



2021/12 市内科学館

## 9年間の実績

- 雑誌、新聞、テレビ、Web報道 **1,346件**
- iCONMへの来訪者数 **13,588名**
- ニュースレター「NanoSky」(日英)の発行 **9巻**
- COINSセミナーの開催 **62回**
- COINSシンポジウムの開催 **8回**
- iCONM市民公開講座の開催 **3回** 他多数

\*報道、来訪者は2021年10月時点、他は年度末までの見込を含む。

**「スマートライフケア社会」の  
実現に向けて、市民の声を  
活かした研究開発を進めていく**